

令和5年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

佐世保市立相浦小学校高島分校

所在地：佐世保市高島町336

校長：橋爪良仁

児童数：8名（2学級）

た…………たくましく
か…………かしこく
し…………しんせつに
ま…………まじめに

1 テーマ「音楽いっぱい花いっぱいあいさついっぱい読書いっぱい」

2 目的

- 地域の教育力や特色を生かし、知・徳・体のトータルバランスがとれた人間の育成を目指します。
- 「確かな学力の育成」「豊かな人間性の育成」を柱として、特色ある学校づくりを推進します。

3 主な実践内容

（1）確かな学力の育成

① 授業改善

本年度は、主題はそのままに副主題を変え、『確かな学力と豊かな表現力を育む学習活動の工夫～「ことばを磨く」活動を通して～』として、「読む・聞く」のインプット、「話す・書く」のアウトプットの基礎的な力を育成することを目指しました。同時に複式指導、ICTを活用した授業など、学校及び児童の実態に即した授業改善を推進すべく、授業研究を中心に校内研修を実施しました。



② 学力調査の実施・考察

12月に全学年学力調査を行い、児童の学力の伸び、個別の課題などの実態把握を行い、児童の学力向上に向け、授業改善を行いました。

③ 基礎・基本の定着

毎週木曜の朝のチャレンジタイムでの視写、暗唱、聞き取りドリルなどの取組に加え、ビジョントレーニング、コグトレ（認知機能強化トレーニング）など、学習に必要な基礎トレーニングや個に応じた支援を行いました。

(2) 豊かな人間性の育成

① 音楽いっぱい運動

全校児童8名によるドラムとキーボードを中心とした「しおかぜバンド」の活動に取り組みました。運動会、心ほっこりふれあい会（学習発表会）、年度末の「しおかぜバンド」の修了式など、地域や保護者等多くの皆さんに演奏を披露しました。



運動会、心ほっこりふれあい会（学習発表会）、年度末の「しおかぜバンド」の修了式など、地域や保護者等多くの皆さんに演奏を披露しました。

5月 町民運動会

10月 心ほっこりふれあい会（学習発表会）

11月 市音楽発表会←R5年度は日程が合わなかったため不参加

11月 あいあいプラザ（相浦公民館）まつり←フェリー欠航のため不参加

3月 しおかぜバンド修了式

3月 離任式・先生方の見送り

② 花いっぱい運動

校内では、キンギョソウ、サクラソウ、なでしこなどの花を、花壇やプランターに育てました。入学式には、自分たちで育てた花を式場に飾るなど、児童の豊かな人間性の育成に役立ちました。



また、保育所と連携し、保育所前の畑で園児と一緒にサツマイモを育て、保育所との交流を深めました。



③ あいさついっぱい運動

登校時に職員室に来ての朝の挨拶をはじめ、折に触れ、進んで挨拶するように心がけました。分校を訪れたお客様やゲストティーチャーにも心をこめて挨拶をしました。「また、分校に来たい」とお客様に思っていただけのように心がけました。

④ 読書いっぱい運動

図書担当や派遣される図書司書の先生の力を借りて、読書率アップに努めました。読書集会でのそれぞれのお気に入りの本の紹介や読書ビンゴ、昔話の間違い探し、月に1度の4・6年生と先生方の読み語りなどに取り組みました。読み語りでは、友達への読書の啓発とともに表現力を磨くことにも一役買いました。下級生のことを思って選書する姿が見られました。



(3) ふるさとを愛する心情の育成（地域の特徴を生かした活動）

① カキの観察・種付け活動

地元のカキ養殖業を営む方と保護者にご協力いただき、夏の観察・冬の種付けを毎年実施しています。毎年違う育ち方をする牡蠣の様子に、自然の豊かさ・厳しさを学ぶことができます。冬には種付けで新たな生命の息吹を感じることができました。



② 稚魚放流

カキ観察日と同日に、相浦漁協の協力をいただき、約500匹のカサゴ（あらかぶ）の稚魚放流を、高島港東棧橋で実施しました。水産資源の大切さ、漁業の現状などのお話もいただきました。カサゴの成長と水産資源の持続を願いました。



③ お魚さばき教室

漁師の町に育つ子どもたちとして、魚を調理できる人になってほしいという願いから、毎年行っている取組です。一昨年度より、保護者の方を講師として実施しています。保護者の方が早朝より大量のアジを獲ってきてくださり、ほかの保護者の皆様も児童につきっきりで教えてくださったので、全員が魚をさばいて調理することができました。町の産業である漁業への関心を高めるとともに、命を大切にいただくという意味でも意義ある活動となりました。

